

R h D 血液型 結果報告

静岡県立こども病院

松島 江理

配布試料

R h D血液型

試料 4 1

D 陰性

試料 4 2

D 陽性

検査方法

施設数 (%)

試験管法

31 (46.3%)

カラム凝集法 (ビーズ)

25 (37.3%)

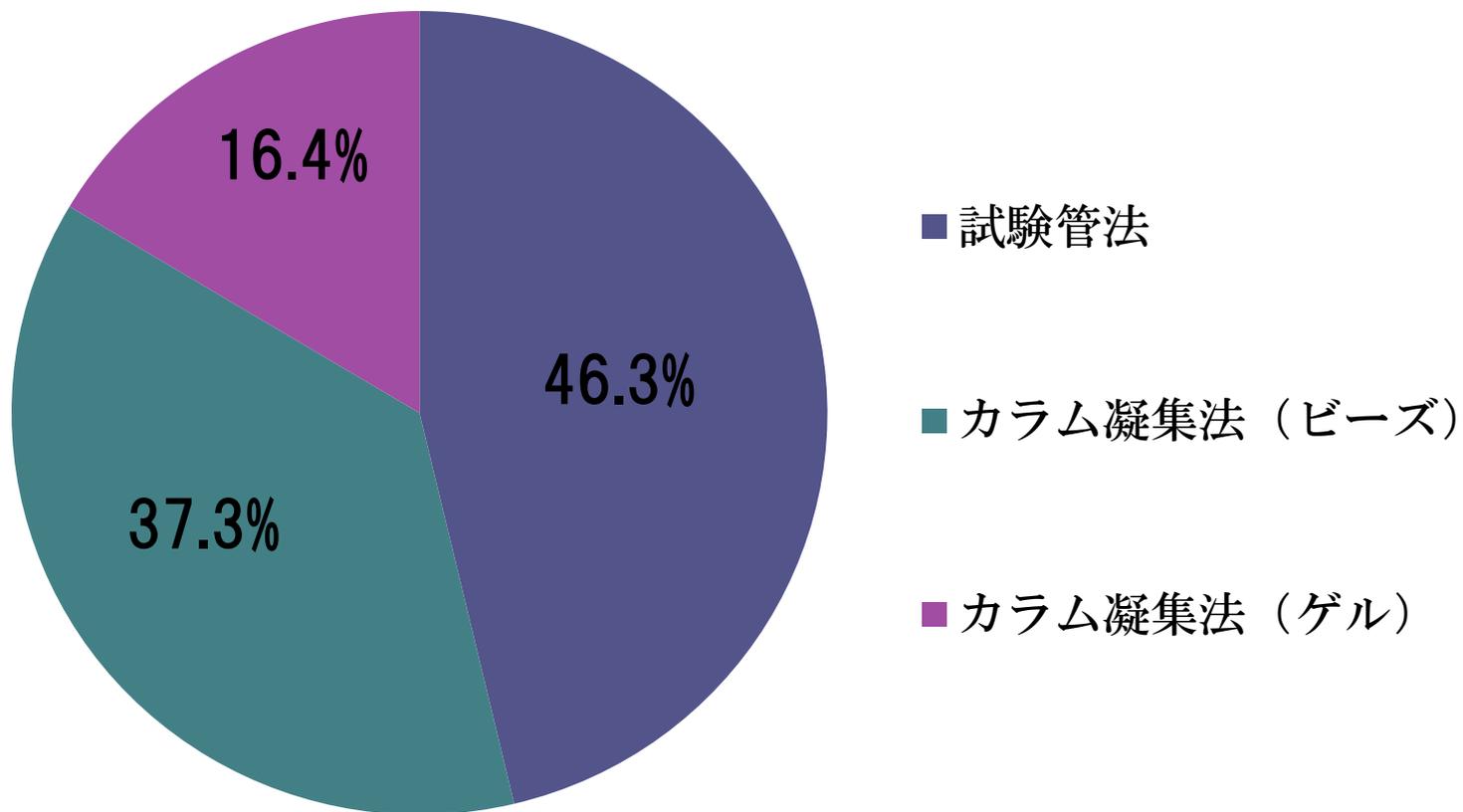
カラム凝集法 (ゲル)

11 (16.4%)

合計

67 (100.0%)

検査方法

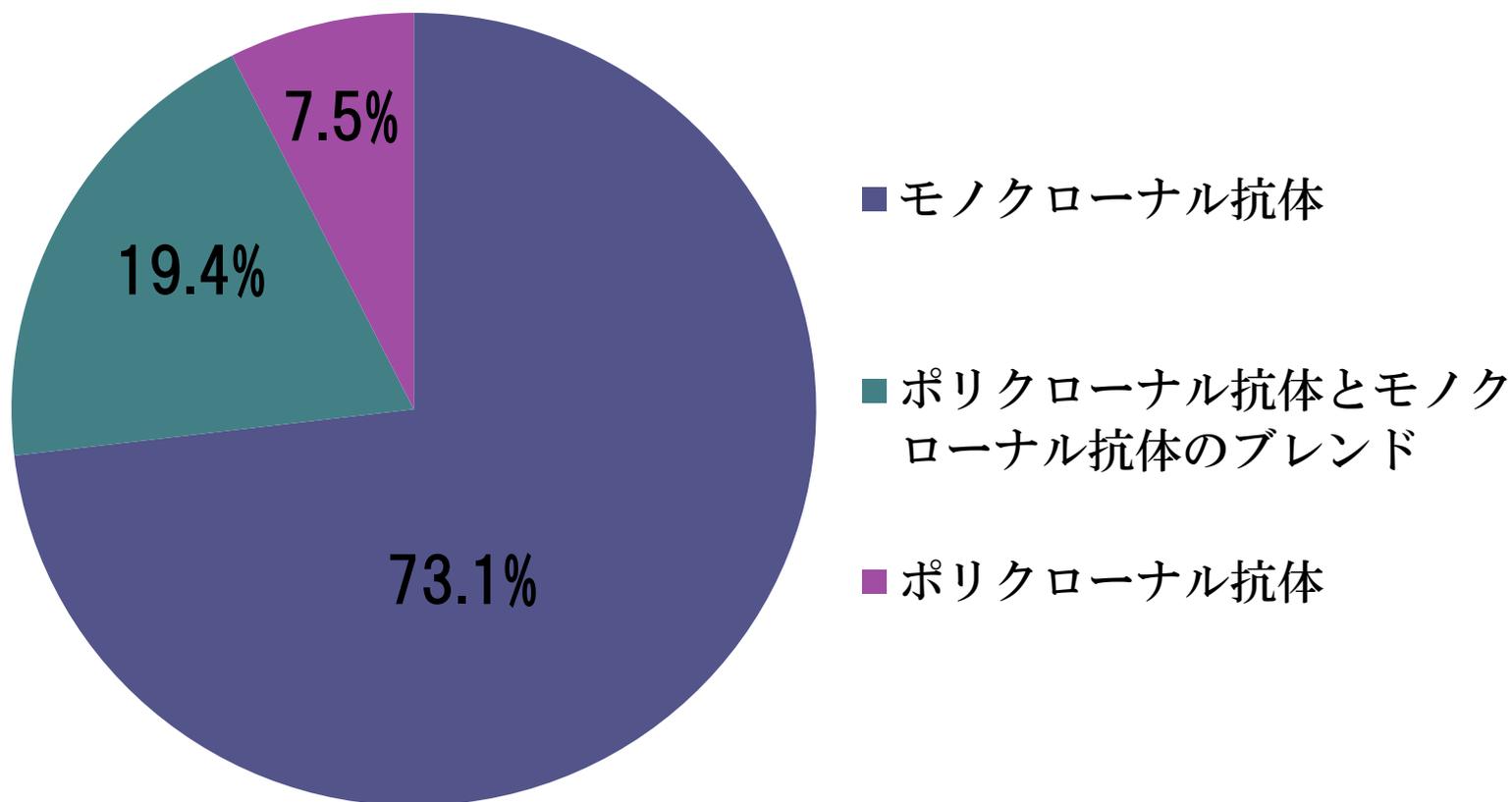


抗D試薬

施設数 (%)

モノクローナル抗体	49	(73.1%)
ポリクローナル抗体とモノクローナル抗体のブレンド	13	(19.4%)
ポリクローナル抗体	5	(7.5%)
合計	67	(100.0%)

抗D試薬



回答状況

試料 4 1

判定結果	施設数	(%)
D陰性 (Rhコントロール実施・D陰性確認試験陰性)	55	(82.0%)
D陰性の疑い・判定保留 (Rhコントロール実施・D陰性確認試験未実施)	4	(6.0%)
D陰性 (Rhコントロール実施・D陰性確認試験未実施)	2	(3.0%)
D陰性 (Rhコントロール実施・D陰性確認試験においてRhコントロールとの反応2+)	1	(1.5%)
weakD (partial D) (Rhコントロール実施・D陰性確認試験において抗D試薬との反応W+)	1	(1.5%)
D陰性の疑い (Rhコントロール実施・D陰性確認試験陰性)	1	(1.5%)
D陰性 (Rhコントロール未実施・D陰性確認試験陰性)	1	(1.5%)
D陰性 (Rhコントロール未実施・D陰性確認試験未実施)	1	(1.5%)
判定保留 (Rhコントロール未実施・D陰性確認試験未実施)	1	(1.5%)
合計	67	(100.0%)

試料 4 2

判定結果	施設数 (%)	
D陽性 (Rhコントロール実施)	63	(94.0%)
D陰性 (Rhコントロール実施)	1	(1.5%)
D陽性 (Rhコントロール未実施)	3	(4.5%)
合計	67	(100.0%)

まとめ①

- ◆ 抗D試薬と同時にRhコントロールを用いて検査を実施する
- ◆ コントロール（陰性対照試薬）は使用する抗D試薬の添付文書で指定されたものを用いる
- ◆ 輸血細胞治療学会のHP等で、赤血球ガイドラインの再確認を！

まとめ②

- ◆ 抗D試薬の直後判定が陰性の場合は判定保留とし、引き続きD陰性確認試験を行う
- ◆ ただし、D陰性確認試験は必須ではなく、この患者はD陰性と同様に取り扱い、輸血にはD陰性の輸血用血液製剤を用いる
- ◆ D陰性確認試験において抗D試薬の判定が陰性の場合はD陰性と判定する
- ◆ 結果の入力間違いは重大な輸血過誤につながる可能性がある。サーベイでも入力の際のダブルチェックを行うなど、通常の検体と同様に！